

1. 日本化粧品技術者会誌の論文の種類と基準

種類	原著	短報	資料	総説
論文の種類ごとの基準	①新規性, 独創性, 有用性のいずれかが認められるもの, あるいは今後の発展の可能性が大きいもの ②論文として論旨の整合性がとれていること ③論文としての信頼性と完成度のあるもの	①研究, データが断片的であったり, 原著論文の基準は満たさなくても, 新規性, 独創性, 有用性, 今後の発展のいずれかが認められるもの ②論旨の整合性がとれていること ③信頼性があるもの (研究討論会の要旨を論文の体裁に整えたものも可とする)	①原著, 短報の基準は満たさないが, 新しい事実, 価値あるデータ, 調査研究, 試験研究による有意なデータを含むもの ②実験の結果報告の意味合いが強いもの	学術的, あるいは技術的知識の発展を体系化したもの
論文構成	1. 緒言 2. 実験 3. 結果 4. 考察 5. 結論 6. 引用文献	同左	同左	—
ボリューム (目安)	英文要旨: 200~300語 和文要旨: 500字以内 (和文投稿のみ) SCCJ誌投稿テンプレートを利用できる。	英文要旨: 200~300語 和文要旨: 400字以内 (和文投稿のみ) 刷上がり5ページ以内 和文投稿はSCCJ誌投稿テンプレートを利用する。 英文投稿はSCCJ誌投稿テンプレートを利用できる。	短報に準ずる。考察, 結論を省略することができる。 SCCJ誌投稿テンプレートを利用できる。	SCCJ誌投稿テンプレートを利用できる。
審査有無	有り	有り	有り	無し
審査ポイント	論文として上記基準と2項の基準のガイドラインを満たしかつ査読時のチェックシートをパスしたもの	上記基準と2項の基準のガイドラインに基づく査読を行うが, 研究, データが断片的であることを加味し, 完成度は問わず, 次の投稿につながる査読とする。	データ紹介, 販促的な要素の多いものなど	—

2. 基準のガイドライン

○新規性, 独創性, 有用性, 発展性

- ・ 同じ内容, あるいは極めて類似した内容がすでに発表されていないこと。
- ・ 導入した概念や方法, 発見した事実法則などのいずれかが新規であること。
- ・ 技術, 学術的に価値のある有用な情報を提供できるもの。
- ・ 研究の着手段階であっても, 新規な発想, 着想に基づく研究で今後の発展の可能性のあるもの。
- ・ 既知の方法の改良や他分野からの応用であっても上記を満たすもの。

○論旨の整合性

- ・目的が明確であり，先行研究を含め背景がしっかり考察されていること。
- ・論拠，論旨，研究手法，資料などが妥当なものであり，論旨に飛躍がないこと。
- ・目的であげられた解決すべき問題点が，結果，結論で明確に記載されていること。

○論文の信頼性

- ・実験手法，実験材料が明確に記載されており，記述に従い成果を再現できること。
- ・データの解釈が客観的であること。
- ・主張する内容に対して明確な証拠（データ），文献が示されていること。

○論文の完成度

- ・一定の主題のもとに実証可能あるいは妥当な成果，結論が得られており，投稿論文一編を持って完結したものであること。

(2019年1月 改定)